

- ▶ 三重県では、みえ森林・アカデミーにおいて様々な講座を開催し、林業人材の育成に取り組んでいるが、講座に使用できる教室不足や、ICT機器などの最新の機器を使用できる施設がない等が課題となっていた。
- ▶ このため、みえ森林・林業アカデミーにおいて充実した教育環境による林業人材の育成に向け、みえ森林・林業アカデミー棟の整備を実施。

□ 事業内容

みえ森林・林業アカデミー拠点整備事業

- ・地域の林業を担う人材育成の拠点となる「みえ森林・林業アカデミー棟」を整備。

【事業費】 R4 事業費312,571千円（うち譲与税89,571千円）

総額538,727千円（うち譲与税171,727千円）

【実績】 ・みえ森林・林業アカデミー棟を整備

・県産材使用量342.5㎡

□ 取組の背景

- ・地域の林業の中核となる、次代を担う林業人材を育成するための教育拠点を整備する必要であった。
- ・既存の施設では、レーザ測量やICT機器などの最新技術を有効に活用できる林業人材の育成するための設備が不十分であった。
- ・これらのことから、林業人材の育成の中心となっている「みえ森林・林業アカデミー」において、教育環境を充実させるため、「みえ森林・林業アカデミー棟」を整備。

□ 工夫・留意した点

- ・柱材はすべてFSC認証材を使用するとともに、県内各地域の特色ある林業地の木材を使用。
- ・三重県における木造建築の教材とするため、内装はできる限り木質化を図るなど、県産材を魅せる構造・内外装とした。
- ・太陽光発電や蓄電池、雨水利用、薪ストーブの設置など、自立運用可能な環境を整備。

□ 取組の効果

- ・充実した教育環境を整備したことにより、次代を担う林業人材の育成の促進が図られている。
- ・三重県における木造建築の教材とされることにより、県内の建築物の木造・木質化の促進が期待される。



(みえ森林・林業アカデミー全景)



(大教室)



(廊下)

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：142,686千円	②私有林人工林面積（※1）：193,805ha
③人口（※2）：1,770,254人	④林業就業者数（※2）：1,027人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より